



骨髓バンク・さい帯血バンクを身近なものに



BANK! BANK!

みんなでつなぐいのちのバトン

TOPICS

セキララ会議 ～となりの白血病サバイバー～

移植事業に携わるスタッフの思い
つながるメッセージ

BANK DE QUIZ



日本赤十字社
Japanese Red Cross Society

セキララ会議～となりの白血病サバイバー～

白血病になり、移植手術をした患者さんがセキララに語る、その名も「セキララ会議」。

実は、移植を終えてからも自分の体との闘いは続きます。そのような闘いをしている「白血病サバイバー」の皆さんが教えてくれた、移植後にあった様々なハナシ。あなたの身のまわりにもいるかもしれない移植経験者のコト、考えてみませんか。

▶メンバー



宇賀治 彩さん(20代)

- 9歳で白血病を発症
- 家族・骨髄バンクともにドナーが見つからず、11歳で自家幹細胞移植*
- 現在の職業:看護師

*自分の細胞を保存しておいてまた体に戻す治療法



小畑 和馬さん(30代)

- 15歳で白血病を発症
- 骨髄バンクでドナーが見つかり、17歳で移植
- 現在の職業:環境改善ビジネスの企業の役員



光江 健太郎さん(30代)

- 33歳で白血病を発症
- 弟とHLA(白血球など全身の細胞にある型)が一致し、34歳で移植
- 現在の職業:システムエンジニア



宇賀治

私は看護学校を卒業した後、子どもの専門病院に就職しました。でも、移植後に肺炎になって肺の一部取ったり、脾臓(ひぞう)*を取ったりしていたので、ちょっと疲れるとすぐ熱が出たりして体力的につらくて。今は転職して内科クリニックに勤務しています。

*細菌や異物から体を守る免疫機能を持つ臓器。



小畑

実際、大変なのは体力ですね。僕も移植後に肺炎にかかって、今も右肺が機能しないんです。当時は11本も点滴をしながら40度以上の熱でもうろうとして、70kgから48kgまでやせてしまっただけで体力が回復するまでに時間がかかりました。



光江

私は移植を受けるときに休職して、その1年後に白血病が再発してまた休職しなければならなかったのですが、職場の人には「大丈夫だよ」と快く言ってもらえました。傷病手当なども会社側からすぐに手続きしてくれましたし、社長や同僚もお見舞いに来てくれて。みんなに感謝しています。



宇賀治

すごい会社ですね。私は転職するときいくつか面接を受けたのですが、白血病だったことを言うと働けないと思われるのではないかと感じて。言うかどうか悩みました。



小畑

僕もアルバイトの面接に行くとき、薬の副作用で顔がパンパンになっていたのを、まず見た目で落とされました。中には雇ってくれるところもあったんですが、病気という周りの視線が違いますよね。



光江

確かにそんな空気はありますよね。私も職場復帰してこの1年は体調不良で1～2週間休んだりしたのですが、周りはどう思っているのかなど気になりました。理解がある職場とはいえ、社内には病気のことを知らない人もいますので、今自分から発信するかとという悩みますね。



小畑

僕自身は、いつも全然隠さずオープンにしていました。障害者枠で就職した会社の人は理解があって、病気のことを知りながら冗談のネタにし合えるような雰囲気よかったです。

「骨髄バンク」「さい帯血バンク」って知ってる？

骨髄バンク・さい帯血バンクでは、白血病などの患者さんに血液を造る細胞(造血幹細胞)を分けてくれるドナーを募集しています。医療が進歩した現在でも、ドナーになってくれる方がいなければ、移植が必要な患者さんを助けることはできません。まずは、病気や患者さんの現状を知ることから始めてみましょう。



光江

やっぱり言うほうがいいのかなあ。去年からテニスを始めて、そこでも言ったらみんながどんな反応をするのか不安で、まだ言えないんですね。



小畑

実は周りも「踏み込んじやいけないのかな」と思っているかもしれないし、こちらが軽く伝えれば、病気のことを話しても構わないんだなって思ってくれるかも。



宇賀治

私は最近、周囲に「白血病だったんですね」とってどういう反応がくるかなと思いつつ、ニヤニヤしながらカミングアウトしました(笑)。「そうなんだ。でも治ったならいいじゃん」って普通に接してくれたことがうれしかったです。



小畑

それ、たぶんニヤニヤ効果ですよ(笑)。



宇賀治

高校生のときには「手術のあと?全然きれいじゃん」と理解してくれる友だちもいて、すごうれしかったです。理解してくれる人は必ずいるし、病気の経験も全て大切だから今、闘病中の人もあきらめずに進んでほしいです。



小畑

病気になったからこそ、人のやさしさもわかりますよね。



光江

そういう、病気に対する理解ももっと必要だと思います。私は理解ある会社でよかったのですが、やはりがんになったら辞めてしまう人もいると思うので。



宇賀治

私は治療中、骨髄バンクに患者登録してもドナーが見つからなくて、何度も心がくじけました。ドナー登録するだけでもいいし、1人でも多く協力してほしいです。



小畑

幅広く理解してもらうには、社会的にも若いがん患者を支える法整備をするとか、根本的な解決をめざすべきだと思います。病気と闘っている若い世代をもっと応援してほしいですね。

セキララ会議をもっと見たい方は、Facebookをチェック! アクセス方法は裏面へ

▶あなたの体験談も募集しています! 詳しくは、@bmdcで検索→さい帯血移植バンク検索サービスにアクセス→「お問い合わせ」ページへ!

つなげるメッセージ

移植事業に携わるスタッフから、読者の皆さまへメッセージ!



高槻赤十字病院
血液腫瘍内科病棟
造血細胞移植後患者長期フォローアップ外来
看護師
橋本 龍さん

Q.普段どのようなお仕事をされていますか?

主に血液の病気で化学療法や造血幹細胞移植を受ける患者さんをサポートしています。入院中はもちろん、移植後の定期検診や日常生活のサポートなど、退院後の長期フォローアップも行っています。移植という治療を患者さんとご家族に正しく知っていただき、治療の意味を考えるお手伝いを通じて、納得のいく選択となるように支援することも私たちの重要な役割です。

Q.お仕事の中で印象に残ったエピソードを教えてください

さい帯血移植を受けた患者さんが生着(血液を造る力が回復すること)を迎えた日。普段はあまり辛さや不安など感情を見せない方でしたが「いただいた新しい命だ、ありがとう」と涙を流されました。移植治療に懸ける患者さんの思いとドナーの方々からの尊い善意を改めて実感し、看護師としての使命について深く考えました。

Q.読者へのメッセージをお願いします

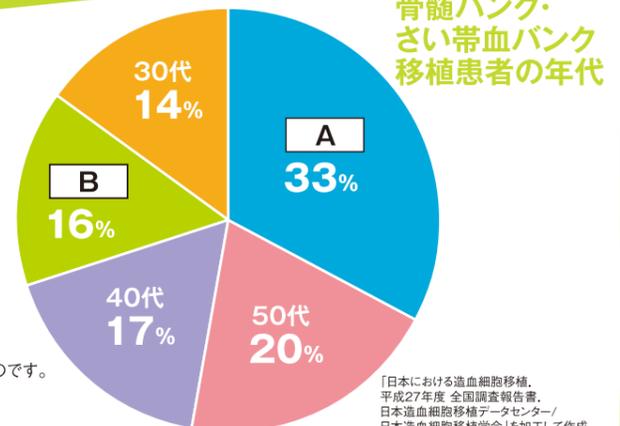
移植医療は、ドナーの方々からの善意なくしては成立しません。ご家族から、あるいは骨髄バンク・さい帯血バンクから提供いただいた尊い善意が、患者さんの生きるチャンスにつながっていくことを願っています。私たちも「いのちのバトン」をつなぐ一員として患者さんとご家族、ドナーになられる皆さまとともに歩む存在でありたいと思っています。

BANK DE QUIZ クイズの答えを考えよう!

Q. 次のうち、正しい組み合わせはどれでしょう?

- ① A:20代以下 B:60代以上
- ② A:60代以上 B:20代以下

骨髄バンク・さい帯血バンクから移植を受けるのは、白血病など血液の病気の人々です。移植を受けたときの年齢は20代以下の人が33%。セキララ会議に参加してくれた3人のように、移植後に進学や就職を迎える人たちがたくさんいるのです。あなたとなりに白血病サバイバーがいるかもしれません。



つなげよう「ありがとう」

INFORMATION

骨髄ドナーの登録窓口やさい帯血の提供ができる産科病院はポータルサイトでチェック! QRコードからアクセスできます。

ポータルサイトでイベント&ボランティア情報をチェック!

骨髄バンク・さい帯血バンクポータルサイト「造血幹細胞移植情報サービス」

www.bmdc.jrc.or.jp/

bmdc 検索



ポータルサイトの「パンフレット図書」からバックナンバーも閲覧できます!



想いを言葉にかえて

ポータルサイトにある「つながるメッセージ」では「BANK!BANK!」を読んで考えたこと、感じたことなど、ご意見を募集しています。投稿された内容は、広報誌やWEBページ制作などの参考にさせていただきます。

Facebookページでクイズや最新情報をチェック!



BANK!BANK!
Facebookページ

[bankbank.jrc](https://www.facebook.com/bank.bank.jrc/)

<https://www.facebook.com/bank.bank.jrc/>



※画像はイメージです。

マンガで学べる「骨髄バンク・さい帯血バンク」

骨髄バンクやさい帯血バンクって難しそう…。と思うあなたに、この2冊のマンガがおすすめ。バンクや移植などについて分かりやすく解説しています。

デジタルパンフはこちらをチェック!

http://www.bmdc.jrc.or.jp/pamphlet/generalpublic_p.html

bmdc 検索

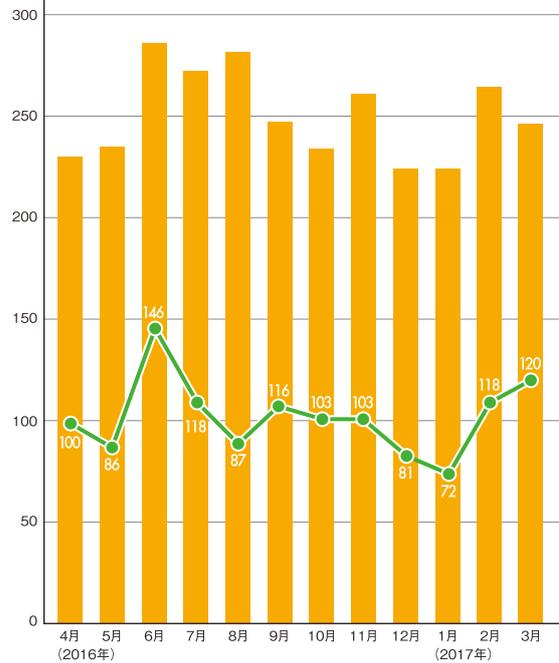


「ぞうけつおかん」
動画公開中!!
Facebookを
チェック!



骨髄バンクの患者登録数※と移植数(月間)

■ 骨髄バンク患者登録数(新規)
● 骨髄バンクを介した造血幹細胞移植数



※「患者登録数」とは、骨髄バンクを介した移植を希望し、登録している患者さんの人数です。

骨髄バンク・さい帯血バンクを介した造血幹細胞移植症例数の累計:35,058例
(内訳) 骨髄バンクを介した移植:20,547例 / さい帯血バンクを介した移植:14,511例
(2017年3月末現在)

日本赤十字社

患者さんに適合する「さい帯血」や「骨髄」をインターネットでいつでも探すことができるように、「さい帯血」や「骨髄ドナー登録者」の情報の管理や必要な検査を行っています。

骨髄バンクへの関わり

全国の献血会場でドナー登録の受付や、パンフレットなどによる普及活動を行っています。

さい帯血バンクへの関わり

全国6つのさい帯血バンクの運営をサポートしています。さい帯血の品質を向上させるための研修や、さい帯血バンクを知ってもらうための普及活動を行っています。

BANK! BANK! とは

2つのバンク【骨髄バンク・さい帯血バンク】の理解を深めるための広報誌。全国から集まったメンバーが制作に参加し、毎月異なるテーマをわかりやすく解説。骨髄・さい帯血に含まれる造血幹細胞(血液を造る細胞)を、より多くの患者さんに安全に届けることを目指して活動しています。

次回のBANK! BANK!

胎盤とへその緒(さい帯)の中に含まれている血液、それがさい帯血。7月発行予定の次号は、一般的にはまだまだ知られていないさい帯血バンクの情報をお届けします!